

Press Release

報道各位

2021年11月20日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ 美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 公募展【MIMOCA EYE / ミモカアイ】創設のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は新たな現代美術の公募展【MIMOCA EYE / ミモカアイ】を開始します。

MIMOCAは、2021年11月23日に開館30周年を迎えます。これまでも常に新しいものを積極的に紹介する現代美術館として活動してきましたが、大きな節目を迎え、新しく2022年、若いアーティストを支援する公募展【MIMOCA EYE / ミモカアイ】を始めます。

「アートとはその時代の答えであって、アーティストはこの現代をどう表現するのかという責任がある。それがコンテンポラリーアート。未来に向かってアーティストがどういうふうに向き、今にないものを発見していくかっていう、一番大事で一番難しいことの結果を見せる美術館であってほしい」（猪熊弦一郎）

猪熊弦一郎のこの言葉を指針とするMIMOCAは、フレッシュな感性をもつ人々の才能に大いに期待しています。これからを担う若いアーティストが時代を捉えながら新しい表現を生み出し、独自の才能をはばたかせる起点となる場として【MIMOCA EYE / ミモカアイ】を創設します。

MIMOCAでは、2000年に当時32歳だった中山ダイスケの個展を開催、その後、活躍が期待される40歳以下の作家の個展を「MIMOCA'S EYE」としてシリーズ化し、2001年にvol.1の野口里佳、2009年にvol.2の小金沢健人を、2013年にはvol.3としてフランシス・アップリチャードを取り上げてきました。この度の【MIMOCA EYE / ミモカアイ】は、公募展へと変わり、芸術家として活動する若い人たちに門戸を広げ、発展の場とするものです。1次審査で選考された入選者による展覧会【MIMOCA EYE / ミモカアイ】を開催し、さらに入選者の中から大賞受賞者を選出します。大賞には賞金のほか、副賞として丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での個展開催の機会を提供し、受賞後の更なる飛躍を後押しします。

MIMOCAは未来を開く作品に挑戦するアーティストを応援します。

■概要

[賞]

大賞（1件）賞金100万円

副賞として丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での個展開催の機会を提供

[応募資格]

2022年4月1日時点で35歳以下、かつ活動歴が3年以上の方またはグループなど

[出品料]

無料

[選考委員]

募集要項にて発表

[第1回【MIMOCA EYE / ミモカアイ】スケジュール]

2022年4月 募集要項発表

2022年春 作品応募受付

2022年夏 1次審査（書類審査）-入選作品発表

2022年秋 2次審査（作品審査）

-受賞者発表および入選作品による【MIMOCA EYE / ミモカアイ】展開催

2023年度以降 大賞受賞者による個展

[主催]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

※詳細は募集要項で発表します。また新型コロナウイルスの感染拡大等により、日程・内容が変更になる場合があります

■施設情報

| 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 |

丸亀市の市政施行90周年の記念事業として、丸亀市ゆかりの画家・猪熊弦一郎の全面的な協力のもと1991年11月23日に開館し、2021年11月23日に開館30周年を迎えます。建築家の谷口吉生による美しい建築を丸亀駅前に構える当館は、猪熊本人から寄贈を受けた約2万点の猪熊作品を所蔵し、常設展で紹介するとともに、現代美術を中心とした展覧会を開催しています。また、講演会やコンサートなどの多彩なプログラムや、子どもの感性や創造力を育むワークショップなどを開催し、教育を目的とした活動にも力を入れています。

| 猪熊弦一郎プロフィール |

- 1902年 香川県高松市生まれ。少年時代を香川県で過ごす。
- 1922年 東京美術学校（現 東京藝術大学）に進学、藤島武二教室で学ぶ。
- 1926年 帝国美術院第7回美術展覧会に初入選。以後、第10回、第14回で特選となるなど、1934年まで主に帝展を舞台に活躍する。
- 1936年 志を同じくする伊勢正義、内田巖、小磯良平、佐藤敬、三田康、中西利雄、脇田和、鈴木誠と新制作派協会（現 新制作協会）を結成。以後、発表の舞台とする。
- 1938年 フランスに遊学（1940年まで）。アンリ・マティスに学ぶ。
- 1955年 再度パリでの勉学を目指し日本を発つが、途中滞在したニューヨークに惹かれそのまま留まることとし、約20年間同地で制作する。
- 1973年 日本に一時帰国中、病に倒れる。
- 1975年 ニューヨークのアトリエを引き払う。その後、冬の間をハワイで、その他の季節は東京で制作するようになる。
- 1987年 美術館建設に対する丸亀市からの協力依頼を受諾。
- 1991年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。
- 1993年 東京にて死去。90歳。
- 2022年 生誕120周年を迎える。



撮影：高橋章

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
 公益財団法人ミモカ美術振興財団
 担当：松村 円 広報：奥本 未世
 〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
 Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766
www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org